

保健だより

すこやか

令和7年12月4日
大田区立大森第三小学校
校長 井上光広
養護教諭 島田留美

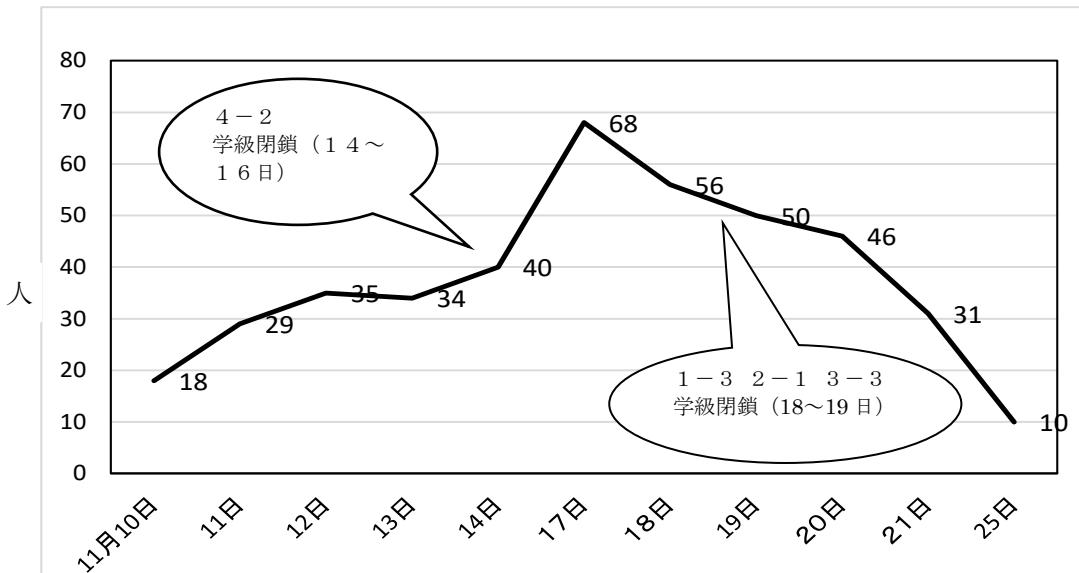
朝晩寒い日が続き、冬本番となってきています。いよいよ今年もあと1か月となりました。12月22日は冬至です。1年で一番昼間が短い日です。この日を境に、少しづつ日が長くなっていますが、本格的な冬はこれからです。

11月はインフルエンザが大流行し学級閉鎖を実施しました。保護者の皆様には児童の健康管理や学級閉鎖にご協力いただきありがとうございました。

インフルエンザは全校で186名（11月29日現在）の罹患がありました。引き続き手洗い、うがいをしっかり行い、病気の予防につとめましょう。



インフルエンザ発生状況（診断された人）



11月に発生した感染症

- インフルエンザ
- 溶連菌感染症
- 感染性胃腸炎
- マイコプラズマ感染症
- 流行性角結膜炎
(アデノウィルス感染症)



冬の感染症に注意してください

①インフルエンザ

11月はインフルエンザの流行がみられ、学級閉鎖も実施しました。学校では手洗い、換気等の予防に努めています。御家庭でも朝の健康観察をしていただき、具合が悪いときには無理に登校させず、御家庭で様子をみていただくよう御協力をお願いいたします。（インフルエンザの場合、一度熱が下がってもまた上がる例もあります。）

『インフルエンザ様症状＝発熱（38℃以上）+頭痛、倦怠感、鼻汁もしくは鼻閉、咽頭痛、咳等』の症状がありましたら、早めの受診をお願いします。またインフルエンザの迅速診断判定を行った場合は結果をお知らせください。（A型 B型 隆性等）御協力よろしくお願いします。

インフルエンザ出席停止期間の基準は『症状が出てから5日間が経ち、かつ熱が下がってから2日間が経つまでは、お休みとなります。熱が出た日を0日と数えます。』

②感染性胃腸炎

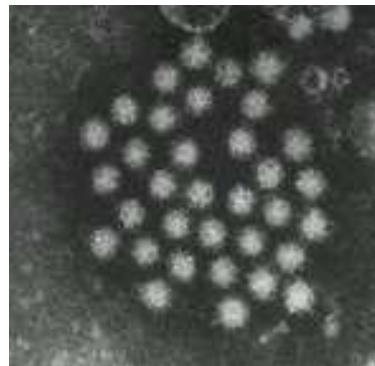
12月は患者数が増加します。本校でも吐き気、腹痛を訴える児童が見られています。ノロウィルスやロタウィルスなどによる感染性胃腸炎は、特に冬季に流行します。

潜伏期間：1～2日

症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱

感染源：感染者の便、吐物、汚染された二枚貝

予防方法：
①しっかり手を洗う。
②食品はよく加熱する。
③おう吐物等の片付けは、正しく行う。



嘔吐物処理の仕方

- ・おう吐物は使い捨て手袋やマスクを着用し、使い捨ての布やペーパータオルで静かにふき取る。
- ・ふき取ったおう吐物はビニール袋に密閉して捨てる。
- ・おう吐物が付いたところは、塩素系の消毒液で消毒する。処理後の手洗いは十分に行う。

消毒液：漂白剤（塩素系）の原液をペットボトルのキャップ2杯を500mlの水で薄める。

*感染しても、症状がない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。

症状がなくなっても、便とともにウィルスが排泄されることがあります。

病院で感染性胃腸炎と診断された場合出席停止になりますので、お知らせください。